

第7回 一関地区広域行政組合

一般廃棄物最終処分場整備候補地選定委員会

日時 令和元年7月26日（金）午前10時～正午

場所 いわて県民情報交流センターアイーナ会議室802

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 協 議
 - (1) 第3次選定について
 - (2) その他
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

一般廃棄物最終処分場整備候補地選定委員会委員名簿

No.	役職	シ 氏 メイ 名	備考	専門分野等
1	委員長	ナカザワ ヒロシ 中澤 廣	工学博士 (岩手大学名誉教授)	廃棄物処理工学
2	副委員長	チバ ケイコ 千葉 啓子	医学博士 (岩手県立大学盛岡短期大学部名誉教授)	環境影響評価
3	委員	アズマ アツキ 東 淳樹	農学博士 (岩手大学農学部)	動物生態学
4	委員	オオカワラ マサフミ 大河原 正文	工学博士 (岩手大学理工学部)	地盤工学
5	委員	サッタ ナオヤ 颯田 尚哉	工学博士 (岩手大学農学部)	環境・放射能
6	委員	ヒラツカ アキラ 平塚 明	理学博士 (岩手県立大学名誉教授)	植物生態学
7	委員	ヤマモト ヒロシ 山本 博	(元県南広域振興局副局長)	行政有識者

最終処分場候補地選定の手順と考え方

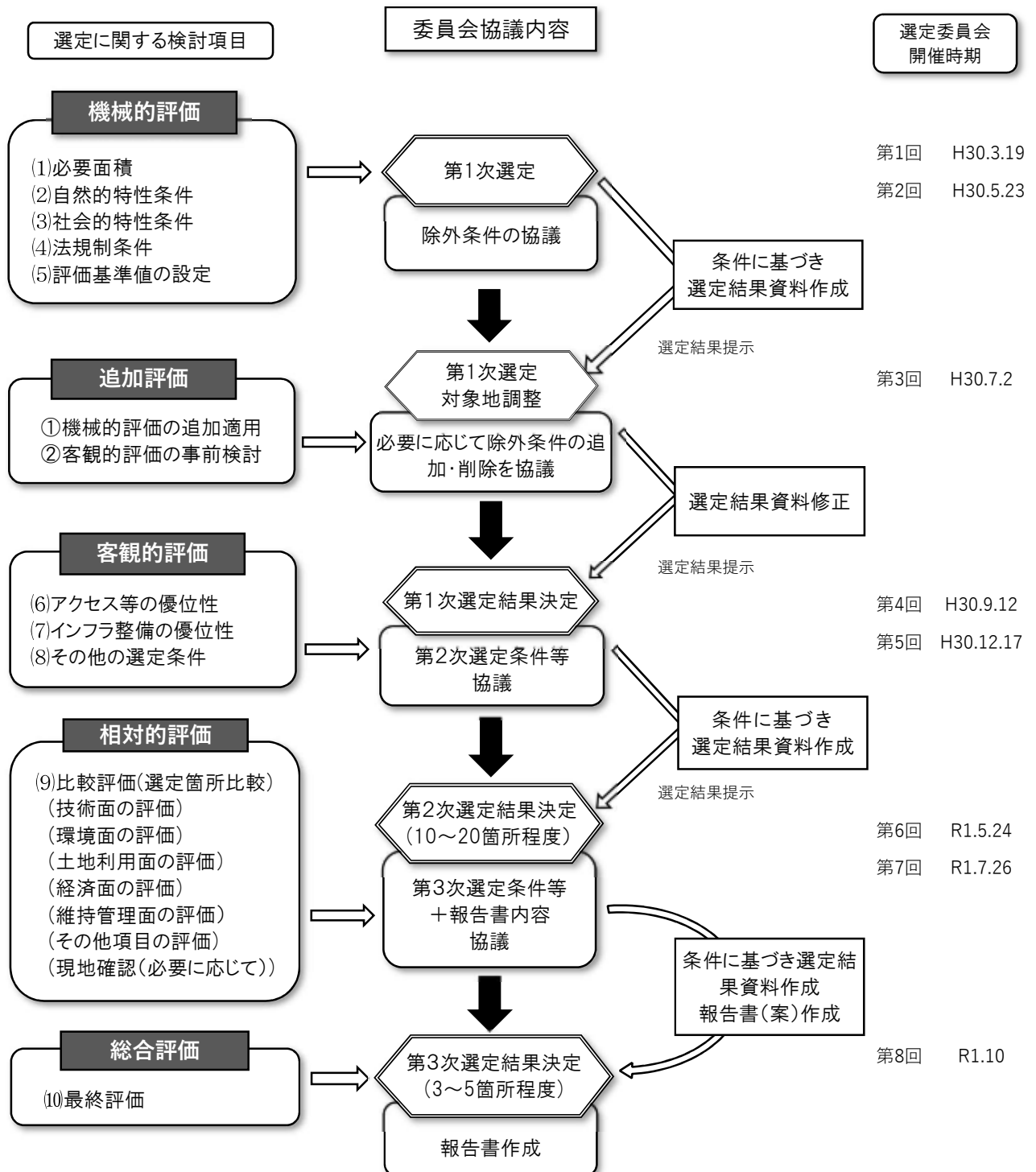
- 委員会による候補地選定の手順は下図による。
- 検討は、以下の考え方にに基づき、3段階で進める。

第1次選定：必要面積等から整備可能地域の条件を設定し、法的規制や災害の影響など、不適切と考えられる地域を除外し、残った範囲から条件に適合する地域を抽出する。

第2次選定：候補地を、アクセス性やインフラ整備の優位性、人口分布等の諸条件により、更に絞り込む。

第3次選定：技術、環境、経済面などを総合的に評価して、合理的な箇所を複数選定する。

候補地選定フロー



協議

第3次選定について

第3次選定は、第2次選定において選定された候補地19か所を次の手順で評価し、候補地として適切な区域を選定する。

- (1) 「1 評価①」に掲げる項目及び内容により評価し、現地調査の対象候補地を7～8か所程度抽出する。
- (2) (1)で抽出した候補地を「2 評価②（現地調査）」の項目及び内容により評価し、最終候補地を3～5か所程度抽出する。

1 評価①

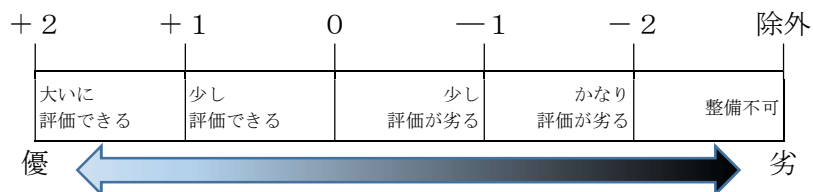
次の項目について評価を行い、第2次選定における評価点数に加算する。

(1) 評価項目

項目	内容
技術面の評価	地盤・地質の状況
土地利用面の評価	① 埋立完了後の土地利用 ② 必要容量確保の可否 ③ 土地利用計画
経済面の評価	① 敷地造成費 ② 取付道路延長 ③ 浸出水排出管路延長 ④ 土地の価格 ⑤ 維持管理費
土地権利面の評価	① 所有者数 ② 遠隔地在住の所有者数 ③ 未相続・筆界未定・共有の土地の有無 ④ 地役権・地上権の有無 ⑤ 抵当権等の有無
その他考慮すべき事項	① 地域における土地利用の現状 ② 放流先河川の状況 ③ 希少動植物生息域状況 ④ その他

(2) 採点基準

項目ごとに次の評価をし、それぞれの重要度に応じて重み付けをする。



※合計最高点：10点、合計最低点：-10点

2 評価②（現地調査）

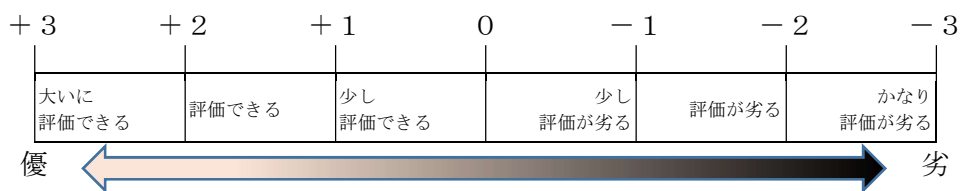
現地調査を行い、各委員の採点の平均値を「評価①」の点数に加算する。

(1) 評価項目

項目		内容
自然環境面の評価	(配点×1)	施設建設に伴う自然環境への影響を評価
生活環境面の評価	(配点×1)	施設建設に伴う生活環境への影響を評価
総合的評価	(配点×2)	候補地の総合的な評価

(2) 採点基準

項目ごとに次の評価をする。



※合計最高点：12点、合計最低点：-12点

(3) 現地調査

① 調査対象

評価①により絞り込まれた7～8か所の全ての候補地とする。

② 調査方法

- ・ 候補地が確認できる近傍からの調査とし、候補地内へは立ち入らない。
- ・ 現地確認後、全体で意見交換を行う。

③ 時間等

- ・ 候補地の確認は1か所当り15分程度を見込む。
- ・ 全体での打合せは1時間程度を見込む。
- ・ 移動時間を含め、全体で6時間程度を見込む。

④ 調査時準備資料

- ・ 候補地地形図
- ・ 候補地と第1次選定除外条件との近接状況を示す図
- ・ 候補地の航空写真
- ・ 第3次選定評価①の評価結果（評価コメント入）

⑤ その他事務局で準備する物品

- ・ 書類挟み（バインダー） 人数分
- ・ 長靴 希望者のみ
- ・ 雨天時雨具（傘、合羽） 人数分

第3次選定の方法について

第2次選定において選定された候補地から、第3次選定を行う。

第3次選定では次のとおり相対評価により候補地として適切な区域を選定する。

- (1) 「1 相対評価1」に掲げる内容により「2 相対評価2（現地調査）」の対象候補地を7～8か所程度抽出する。
- (2) (1)の抽出結果から「2 相対評価2（現地調査）」の内容により最終候補地を3～5か所程度抽出する。

1 相対評価1

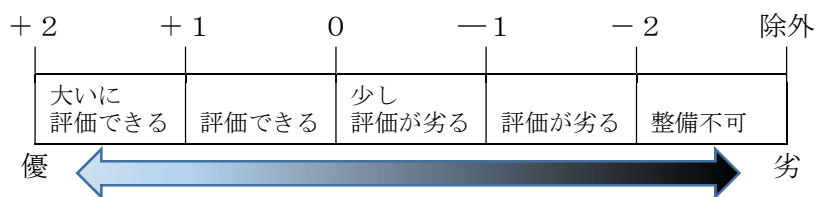
次の項目について事務局で評価を行い、第2次選定における比較評価の点数に加算する。

(1) 評価項目

項目	内容（例）
技術面の評価	用地造成に係る難易度
土地利用面の評価	必要容量の確保に係る難易度
経済面の評価	土地取得の難易度
維持管理面の評価	搬入道路の状況
その他考慮すべき事項	希少動植物生息域、神社仏閣等 等

(2) 採点基準

整備候補地として



※最高点：10点、最低点：-10点

2 相対評価2（現地調査）

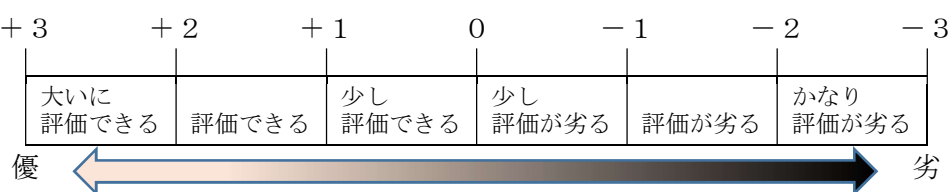
現地調査を行った各委員の採点を集計し、その平均値を「相対評価1」の点数に加算する。

(1) 評価項目

項目	内容（例）
環境面の評価1	施設建設に伴う自然環境への影響
環境面の評価2	施設建設に伴う生活環境への影響
総合的評価（配点×2）	候補地の総合的な評価

(2) 採点基準

整備候補地として



※最高点：12点、最低点：-12点

評価項目説明資料(最終処分場)

評価項目	技術面の評価		土地利用面の評価		経済面の評価		土地権利面の評価		その他考慮すべき事項	
配点	2点×1.0		2点×0.5		2点×1.5		2点×1.5		2点×0.5	
10	地盤・地質の状況	長期間焼却灰等を埋め立て、埋立完了後も管理する必要のある施設のため、地盤・地質の専門業者による現況調査の結果で評価する。	埋立完了後の土地利用	焼却灰などを埋め立てる段数に応じて評価する。	敷地造成費	工事面積に応じて評価する。	所有者数	所有者数に応じて評価する。	その他考慮すべき事項	《地域における土地利用の現状》 候補地に神社仏閣があり、その土地が地域の信仰の対象となっているなどの考慮すべき事情を評価する。 《放流先河川の状況》 浸出水の放流先となる河川に漁業権が設定されていたり、放流先付近に飲料水の取水口等があるなど考慮すべき事情を評価する。 《その他》 その他個別の事情があれば評価する。
20										
30										
40										
50					取付道路延長	取付道路は、2車線の国道又は市道から候補地まで新設・改良するものとし、その延長に応じて評価する。	遠隔地在住の所有者数	おおむね、盛岡、仙台(自動車移動で片道2時間程度の距離)より遠くを遠隔地とし、遠隔地の在住者数に応じて評価する。		
60										
70										
80					浸出水排出管路延長	浸出水排水管路は、候補地から放流先河川まで新設・改良するものとし、その延長に応じて評価する。	未相続・筆界未定・共有の土地の有無	明らかに相続が行われていない土地や、筆界未定の土地、共有地の有無を評価する。		
90										
100										
100										
除外	地盤・地質の状況	現況調査の結果、崩壊地形やリニアメントが確認された場合は除外する。	必要容量確保の可否	埋立容量として178,000㎡程度が確保できない場合は除外する。			未相続・筆界未定・共有の土地の有無	明らかに相続が行われていない土地や、筆界未定の土地、共有地のうち、相続手続きが極めて困難な土地の場合は除外する。	その他考慮すべき事項	個別の事情により、用地造成等ができないと判断される場合は除外する。
上記のほか考慮した項目			土地利用計画	国、県、一関市及び平泉町において特定の目的をもって土地を集積する計画について調査したが、該当はなかった。	土地の価格	各候補地は主に山林や原野などのため、山林の固定資産税評価額を確認したところ、16.50~25.00/㎡と有意な差は確認できなかった。	抵当権等の有無	抵当・根抵当・差押等の権利登記がされた土地があるが、土地取得上の支障項目として評価しない。	希少動植物生息状況	県に照会した結果、一部希少動植物の生息が確認されたことがある候補地はあったが、整備を制限される候補地はなかった。
					維持管理費	候補地の場所に関わらず、施設自体の維持管理費には大きな差異はないことから、支障項目として評価しない。				

評価②（現地調査）採点表

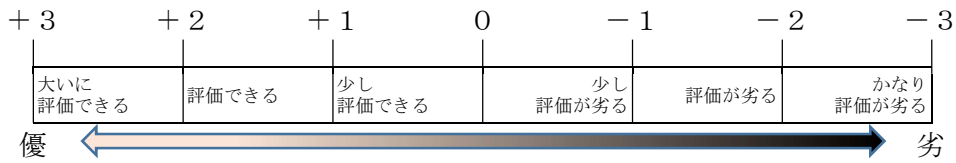
委員名 _____

現地調査により、各候補地の評価項目について他の候補地との優劣で評価します。

1 全ての候補地について、次の全ての評価項目で点数を記入してください。

項目	内容
1 自然環境面の評価 (配点×1)	施設建設に伴う自然環境への影響を評価
2 生活環境面の評価 (配点×1)	施設建設に伴う生活環境への影響を評価
3 総合的評価 (配点×2)	候補地の総合的な評価

2 各項目の点数は次の採点基準により記入してください。



No.〇〇〇

項目	評価	コメント
1 自然環境面の評価		
2 生活環境面の評価		
3 総合的評価		